

2021

問5  $k$  を正の定数とする。微分方程式

$$(*) \quad y'' + k^2 y = 0$$

について考える。

(1) 微分方程式 (\*) の一般解

$$y = C_1 f_1(x) + C_2 f_2(x) \quad (C_1, C_2 \text{ は任意定数})$$

は  $(f_1(x), f_2(x)) = \begin{pmatrix} \boxed{50} \\ f_1(x) & f_2(x) \end{pmatrix}$  で与えられる。このとき  $f_1(x), f_2(x)$  のロンスキーリンゲル行列式を計算すると

$$\begin{vmatrix} f_1(x) & f_2(x) \\ f'_1(x) & f'_2(x) \end{vmatrix} = \boxed{51}$$

である。

(2)  $\ell$  を正の定数とする。微分方程式 (\*) が、 $y(0) = 0, y(\ell) = 0$  を満たし、定数関数ではない解をもつための必要十分条件は、 $k\ell = \boxed{52}$  である。

問3 微分方程式 2020

$$(*) \quad y'' - 6y' + 10y = f(x)$$

を考える。

(1)  $f(x) = 0$  のとき、(\*) の一般解は  $y(x) = \boxed{41}$  である。さらに初期条件  $y(0) = 0, y'(0) = 2$  を満たす解は  $y(x) = \boxed{42}$  である。

(2)  $f(x) = 10x^2 + 28x - 2$  のとき、定数  $A, B, C$  を  $A = \boxed{43}, B = \boxed{44}, C = \boxed{45}$  と定めると

$$y(x) = \boxed{41} + Ax^2 + Bx + C$$

は、(\*) の一般解になる。

問4 初期値問題 2020

$$y'' + 4y' + by = 0, \quad y(0) = 0, \quad y'(0) = 4$$

の解  $y$  について考える。ただし、 $b$  は定数である。

(1)  $b = \boxed{46}$  のとき、 $y = 2e^{-x} - 2e^{-3x}$  である。

(2)  $b = \boxed{47}$  のとき、 $y = 4xe^{-2x}$  である。

(3)  $b = \boxed{48}$  のとき、 $\lim_{x \rightarrow \infty} y(x) = 1$  である。